

### III 平城宮跡等の調査概要

表24 2010・2011年度 都城発掘調査部(平城地区)発掘調査一覧

調査次数	調査地区	遺跡	調査期間	面積	調査地	担当者	調査要因	掲載頁
(2010年度)								
476次	6BYS-K	薬師寺境内	2011.1.17 ~ 2011.2.25	65m <sup>2</sup>	奈良市西ノ京町	今井晃樹	防災工事	174
478次	6AFJ-P・Q・R	左京三条一坊一・二坪	2010.12.8 ~ 2011.3.30	1030m <sup>2</sup>	奈良市二条大路南	大林潤	建物建設	190
480次	6ASB-K	平城宮北方遺跡	2011.2.15 ~ 2011.3.2	10m <sup>2</sup>	奈良市佐紀町	浅野啓介	住宅建設	188
(2011年度)								
481次	6ALQ-H	平城宮東院地区	2011.4.4 ~ 2011.6.24	816m <sup>2</sup>	奈良市法華寺町	鈴木智大	学術調査	160
482次	6AFB-M	海竜王寺旧境内	2011.4.11 ~ 2011.4.15	12m <sup>2</sup>	奈良市法華寺町	芝康次郎	住宅建設	158
483次	6BKF-L・M	興福寺北円堂院	2011.7.1 ~ 2011.10.11	676m <sup>2</sup>	奈良市登大路町	大林潤	史跡整備	178
484次	6AGF-P	右京三条一坊十坪	2011.7.21 ~ 2011.7.27	33m <sup>2</sup>	奈良市二条大路南	森川実	住宅建設	205
485次	6BSD-P	西大寺薬師金堂	2011.8.22 ~ 2011.8.30	20m <sup>2</sup>	奈良市西大寺小坊町	山本祥隆	表門建設	158
486次	6AFJ-Q・R	左京三条一坊一坪	2011.9.27 ~ 2011.12.27	1668m <sup>2</sup>	奈良市二条大路南	神野恵	建物建設	190
487次	6AGF-P	右京三条一坊十坪	2011.10.3 ~ 2011.10.7	21m <sup>2</sup>	奈良市二条大路南	海野聰	住宅建設	158
488次	6AGF-P	左京三条一坊一坪	2011.12.22 ~ 2012.3.30	1584m <sup>2</sup>	奈良市二条大路南	諫早直人	建物建設	190
489次	6BYS-Q・P	薬師寺境内	2012.1.16 ~ 2012.2.24	210m <sup>2</sup>	奈良市西ノ京町	石田由紀子	収蔵庫建設	158
490次	6AFJ-G	左京三条一坊十坪	2012.3.12 ~ 2012.3.22	84m <sup>2</sup>	奈良市二条大路南	馬場基	住宅建設	158

表25 2011年度 都城発掘調査部(平城地区)小規模調査の概要

調査次数	遺跡	調査の概要
482次	海竜王寺旧境内	個人住宅建設にともなう事前調査。南北2m、東西6mの調査区を設定した。土層堆積は、上から現代盛土および旧耕作土(約70cm)、整地土(10cm)、黄白粘質土。旧耕作土によって大きく削平を受けており、検出された遺構は、近現代の水田にともなう土坑1基、瓦暗渠1基のみである。遺構検出面の標高は65.6m。近代以前の遺構は検出されなかった。
485次	西大寺薬師金堂	西大寺薬師金堂の基壇遺存状況や礎石痕跡の有無等の確認のための調査。既往の調査成果にもとづき柱穴2基の検出を目指して調査区を設定した。調査面積は約20m <sup>2</sup> 。調査区全域に近世以降の盛土が厚くほどこされ、污水管が区内を南北に貫き、北半部ではその他に雨水管・ガス管なども埋設されていた。そのため薬師金堂の基壇は完全に削平されていると考えられ、最深部では現地表下約1m(H=76.8m)まで掘り下げたが遺構は検出されず、関連する遺物も出土しなかった。
487次	右京三条一坊十坪	個人住宅の建て替えにともなう調査。東西7m、南北3mの調査区を設定し、地表下約1m(H=64.7m)で遺構面を確認した。東西溝1条を確認したが、出土遺物が少なく、遺構の時期や性格は不明。
489次	薬師寺境内	薬師寺収蔵庫建設にともなう発掘調査。調査地は薬師寺旧境内に位置し、奈良時代の苑院推定地にあたる。調査区周辺は後世に大規模な造成がおこなわれており、遺構は、現地表面から2.2m下げた地山面(H=59.3m)で確認した。主な検出遺構は、古代の掘立柱建物1棟、奈良時代から鎌倉時代の遺物を含む南北大溝1条、平安時代の井戸1基、ピット1基、土坑1基などである。
490次	左京三条一坊十坪	共同住宅建設にともなう事前調査。調査面積は84m <sup>2</sup> (南北12m×東西7m)。遺構検出面は現地表下約1.1m(H=61.8m)。主な検出遺構は東西柱穴列2条、南北溝1条。このほか、柱穴を確認したが、明瞭には組み合わない。

表26 2011年度 都城発掘調査部(平城地区) 現場班編成 ※総担当者

春	夏	秋	冬
芝康次郎(考古第一)	森川実(考古第二)	小池伸彦(考古第一)	※諫早直人(考古第一)
青木敬(考古第二)	今井晃樹(考古第三)	※神野恵(考古第二)	石田由紀子(考古第三)
渡辺晃宏(史料)	山本祥隆(史料)	川畠純(考古第三)	馬場基(史料)
※鈴木智大(遺構)	※大林潤(遺構)	海野聰(遺構)	橋崎和久(遺構)
総括:副所長 井上和人		橋本美佳(考古第三:研修)	写真担当:企画調整部写真室